

2019年11月活動報告

■ いわての森林づくり県民税活用事業

11月27日（水）—28日（木）



田中林の間伐材の中から中丸太（末口径14～30cm）長さ3mをトラック4台約10m³分市場調査として市場に搬送しました。結果はまだ届きません、参加者は延11名。

あとがき

2019年間伐を実施した手代森の田中林は、資料によると林齢が36年で**1983年**に植栽されたこととなります。当会が最初に間伐を行ったのは**2010年**の頃で、林齢が27年でした。

今回、生育の状況や林分調査を基にオーナーの田中氏のご理解を頂き、2回目の間伐を行いました。なおその間において、震災により被害を受けた三陸の養殖棚の復旧用材として適材の間伐が行われ漁業の復興に貢献しています。

思われることは、36年前に、地拵えに始まり、植栽・下刈り・除伐・ツル切り・保育間伐等々精魂を尽くされた姿、それと良い苗木が選択されたことがうかがえます。

今後どうした方向に育て活かすのかが課題となると思います。

これから、山林に価値と関心を失った人々や社会にどう向かい会うべきか模索が続く事になります。自然は、人間も含む動植物の生きる原点です。人はおごらず素直になるべきです。心豊かな人生が叶うと思います。

(参考)

スギ中丸太（末口径14～30cm）価格ほか

年 代	価格(円)	林業労賃(円)	背景
1980年	昭和55 39,600		昭和30年代から木材の輸入自由化が段階的に進み平成元年に戦後最高の8,326万m ³ を記録。一方木材の自給率は、昭和44年に50%を割り平成7年には2割まで低下。
1983年	昭和58 28,000	9,402	
2010年	平成22 11,800	12,921	
2017年	平成29 13,100	13,655	